

部品の姿勢変更装置

用途 検査後に部品の姿勢を変更する機構です。

次工程で箱詰めを行います。

前工程（検査）から1つずつ押し出されて流れてきます。

検査済み部品

回転ユニット

ピニオン

ラック

ラック&ピニオン機構で回転ユニットを横向きにします。

EC-R6L-100-32-B-WA

解説 エアシリンダーでは、急回転して部品が落下したり、指令後に動作するまでのタイムロスがありました。エレスリンダーは、指令後の動作開始が早く、スムーズに加減速できるので、部品落下がなくなり、動作時間を短縮（2.5秒→0.3秒）できました。

